

# 人生ハンド仏句

第141号

H. 25. 12. 1

(毎月1日発行)

## 反省と自覚

住職 谷川寛俊

今年も残り一ヶ月、ほんとうに一年の過ぎ去る事の速いこと。

「いなずまの如し」とまではいかなくとも、例年この時節になるとそう感じるのは私だけでしょうか……？

そろそろ今年の十大ニュースも報道される頃です。確かに本年も起伏の激しい一年だったように思います。近くでは、台風の襲来で伊豆大島で多くの尊い生命が奪われました。

過日厳修されました真成寺のお会式大法要でも、亡き方々の御回向を申し上げました。

きつと法華経とお題目の功德を頂戴され、亡くなられた方々は仏道増進されたものと確信致しております。

ところでその報道には「想定外」「観測史上類を見ない」「異常気象」

等々の見出しが躍っていました。

又国外では台風三十号で大きな被害を受けたフィリピンで、日本の自衛隊や民間団体が続々と現地入りし、官民あげての支援活動が本格化し、自衛隊の輸送機も現地に出発し、被災者への医療提供や衛生環境改善などに向け「オールジャパン」の支援態勢のもとに救護活動中であります。東日本大震災で、日本はフィリピンを含む世界中の各国から多大な支援を受けました。

今回台風の被災地で活動する人々には「恩返しをしたい」との熱い思いがあるのです。

「恩返し」これは私たち日本人にとって最も大切な言葉であると同時に、忘れてはならない言葉でもあります。三年前の大震災でアメリカが実施した支援活動「トモダチ作戦」そして今回のフィリピンでの「支え合い作戦」米国という強大国の先進さは、さすがと思わざるを得ません。

## 「人生ハンド仏句」

と打ち込んで頂けば、ホームページにつながります。

編集・発行

玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

いつたい私達人間は自然に対し、何を想定し予報し、正常な事と捕えていたのでしょうか？

今世界各国で自然災害が起きていく要因に地球温暖化が叫ばれていきます。私達の先祖は過去何千年前から、災害が、「自然のいかり」として信じてきました。また自然は信仰の対象でもありました。自然を単なる物として見出したのは、たかがこの十数年ぐらいのことではないでしょうか。非科学的だという前に、私たち人間のおごり、高ぶりの心をいさめ、もう一度原点に立ち返って「恩ある人を助けん」と叫ばれた大聖人様の一分（いちぶん）にも答えたいと思っています。

そして我々日本人は古来より、他の国の人々にはない素晴らしい精神性を受け継いできました。

今こそ私達一人一人が自覚し、他

なりません。

悲しい事件、事故そして災害以外の他に嬉しい報告も多々ありました。

例えば富士山の世界遺産登録、七年後の東京オリンピック決定、伊勢神宮の式年遷宮等々の慶事もありました。

どうか明年こそ飛躍の年（午年）になりますように願い、本年も種々のご支援いただきました事に感謝申し上げます。



今年最後の締めくくり  
恒例の水行祭。

今年もお楽しみが、  
いっぱい！

十二月二十二日の「ほしま

つり」にお誘い合わせの上、

お参り下さい。お待ちしております

て居ります

温かいかぼちゃスープ（無

料）も待っています！



# お知らせ

## ご報告

こんには赤ちゃん！



わたしはだれでしょう…？

はじめまして！ わたしは結夢（ゆめ）のお姉ちゃんの妹、結鈴（むすぶ）です。どうじょうよくおねがいします。ま〜しゃ〜♪

十一月二十三日零時三十五分、お蔭様で娘（高木真紀子）の第二子が、大安産で、生まれました。天花、寛晟、結夢ともども結鈴も可愛がって頂けたらと思っております。宜しくお願い致します。

平成二十六稔 正月元旦

### ◎新春特別祈祷会

・午前五時より

### ◎一般特別祈祷

・午前八時〜午後六時

家内安全・身体健全・

厄払い・学業増進等々：

※二日以降の特別祈祷のお申込みは、お電話等でご連絡ご予約下さいませ。

どなたでもご自由にお参り下さいませ。

### ◎水子供養会

・毎月十三日

・午後一時半より

### ◎唱題行脚

・毎月二十八日 午後一時半より

先月は不安定な天候の中、回って参りましたが、朝はすごい荒れ模様で心配しました。行脚に出る頃には、青空もどくほど回復し、ずぶ濡れになることは有りませんでした。しかし時節です、冷たい強風が吹いていましたが、皆で力を合わせて、無事行脚をいたしました。お疲れ様でした。来年も頑張りましょう！

先月の参加者

谷川寛敬・伊藤宗治・土居可久子・谷川まり子・谷川久仁子

